

製品安全データシート

製品名	ワールドクリーナー
-----	-----------

1. 製品及び会社情報

製品名	ワールドクリーナー		
製品の勧告用途と使用上の制限			
製品の勧告用途	ポリウレタンフォーム専用ガンの洗浄		
販売元			
会社名	株式会社ティ・エム・シー		
住所	東京都江東区森下5丁目11番8号		
電話番号	03-6659-3871	ファックス	03-6659-3872
作成	2020年11月11日		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性/引火性エアゾール	: 区分1
	高压ガス	: 液化ガス
健康に対する有害性	急性毒性(吸入: 蒸気)	: 区分4
	急性毒性(吸入: 粉塵/ミスト)	: 区分4
	皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2B
	皮膚過敏性	: 区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分3
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1
	吸引性呼吸器有害性	: 区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。
H225 引火性の高い液体および蒸気。
H280 加圧ガス: 熱すると爆発のおそれ。
H305 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ、吸引性呼吸器有害性。
H315 皮膚刺激。
H319 強い目刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気やめまいのおそれ。
H350 発がんのおそれ。
H361 生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ。

安全対策

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙
P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P251 加圧容器: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

応急措置	<p>P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸引を避けること。</p> <p>P264 取扱後は手、顔等よく洗うこと。</p> <p>P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。</p> <p>P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。</p> <p>P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</p> <p>P281 指定された個人用保護具を使用すること。</p> <p>P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。</p> <p>P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。</p> <p>P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。</p> <p>P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>P308+P313 暴露又はばく暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。</p> <p>P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。</p> <p>P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>P331 無理に吐かせないこと。</p> <p>P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>P362 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</p> <p>P377 漏洩ガス火災の場合、漏洩が安全に停止されない限り消化しないこと。</p> <p>P381 安全に対処できるならば着火源を除去すること。</p>
保管	<p>P403 換気の良い場所で保管すること。</p> <p>P405 施錠して保管すること。</p>
廃棄	<p>P410+P412 日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。</p> <p>P501 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則（明示する）に従って廃棄すること。</p>

3. 組成及び成分情報

成分	CAS No.	含有量 (%)	化審法
アセトン	67-64-1	70	(2)-542
ブタン	106-97-8	15	(2)-4
プロパン	74-98-6	15	(2)-3

4. 応急措置

目に入った時：	<p>直ちに水で15分以上注意深く洗ってください。その際、顔を横に向けてからゆっくり水を流す。コンタクトレンズを装着している場合は、可能ならコンタクトレンズを外して、続けて洗眼してください。</p> <p>眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、治療を受けてください。</p>
皮膚に接した時：	<p>直ぐに多量の水と石鹼で洗ってください。</p> <p>汚染された衣服や靴は脱いで、また使用する時は洗ってください。</p> <p>皮膚刺激などが生じた場合は医師の手当てを受けてください。</p>
吸入した時：	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。</p> <p>気分が悪い時は、医師の手当てを受けてください。</p> <p>呼吸困難の場合は、有資格者が酸素吸入を行い、医療機関に搬送してください。</p>

飲み込んだ時： 口をすすぎ、うがいをする。何も飲ませない。無理に吐かせない。直ぐに医師の診察を受けてください。本製品は揮発性のために嘔吐物の一部が肺に入り高熱が出て出血性肺炎を引き起こす危険性があるため、水などを飲ませて無理に吐かせてはいけません。意識が無い時は、何も与えない。体の保温に努め、速やかに医師の診察を受けてください。気分が悪い時は、医師の診断、治療を受けてください。

その他医者 の 注意事項：医療人力が該当物質について認知し、保護措置を取ることができるようにしてください。

吸入：咽頭痛、咳、錯乱、頭痛、めまい、嗜眠、意識喪失

皮膚に付着：皮膚の乾燥

眼に付着：発赤、痛み、かすみ眼

経口摂取：吐き気、嘔吐

5. 火災時の措置

適切な消化剤：泡沫消火器、粉末消火器、二酸化炭素、または水スプレーを使用すること。大火事の場合、空気を遮断できる泡沫消火剤が有効である。

特有の危険有害性：極引火性エアゾール。極めて燃えやすいので、熱、火花、火炎で容易に発火する。本製品の蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動することがあり、屋内、屋外、下水溝などでの遠距離引火の可能性がある。激しい重合反応で火災と爆発を起す恐れがある。蒸気は点火源に移って発火する恐れがある。燃える間、熱分解または燃焼によって、刺激的で非常に有毒なガスが発生する恐れがある。引火点やその以上で爆発性混合物を形成することがある。加熱時容器が爆発する恐れがある。

特有の消化方法：火元への燃焼源を遮断する。火災周辺の設備、可燃性に散水し、火災延焼を防ぐ。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動は可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火時の注意事項：製品の蒸気（ガス）は空気より重い。これは地上に留まったり換気ダクトを通して移動したりすることが出来る。蒸気（ガス）は危険である。消化作業の際は風上から行き、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急装置：漏洩区域は、関係者以外の立入を禁止する。漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。皮膚、眼などの身体とのあらゆる接触を避ける。風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。密閉された場所に立入る際は、事前に換気する。

環境に対する注意事項：河川、下水道、土壌に排出されないように注意してください。

封じ込め及び除去方法：消火のために堤防を作り、水を収去してください。不活性物質（例えば乾燥砂または土）で溢したものを吸収し、化学廃棄物容器に入れてください。液体を吸収して汚染されている地域を洗剤と水で洗ってください。多量漏出し、液体漏出物と遠くに溝を掘ってください。清潔な防爆道具を利用して吸収された物質を除去してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意：裸火禁止、火花禁止、禁煙、酸化剤との接触禁止。ミスト、蒸気、ガスの発生

を防止及び吸入しないこと。屋外、またや換気が良いところで取り扱ってください。圧力をかけたり切ったり溶接、はんだづけ、接合、穴あけ、練磨または熱に暴露、火炎、花火、静電気また他の点火源に暴露しないでください。容器が空いた後にも製品のかすが残ってる場合があるからすべてSDS/ラベル予防措置に従ってください。取扱/保管に注意して使ってください。長期間また持続的皮膚接触を避けてください。避けるべき物質、条件に心掛けてください。熱に注意してください。低地代密閉空間で作業の際酸素欠乏恐れがあるから作業中は、空气中酸素濃度測定及び換気をしてください。

安全な保管方法

: 熱、スパーク、火炎、高熱から避けてください。-禁煙
 使用後にも穴を開けたり、燃やさないでください。直射日光を避け、40℃以上の温度に露出しないでください。容器は熱に露出されると圧力が上がるため、熱に暴露させないようにしてください。飲食飲料から遠く保管してください。

8. ばく露防止措置

許容濃度

化学名	国内規定	ACGIH規定
アセトン	470mg/m ³	500 ppm
ブタン	1,200mg/m ³	1,000 ppm
プロパン	データなし	1,000 ppm

設備対策

: 防爆の電気・換気・照明機器を使用してください。静電気放電に対する予防装置を講ずる。作業時、埃、ヒューム またはミストを発生する場合、空気汚染が露出基準以下に維持されるように換気してください。この物質を保管ないし使用する設備には洗顔施設と安全シャワーを設備してください。

保護具

- 呼吸用保護具 : 呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク)を着用する。
- 手の保護具 : 保護手袋(ネオプレン製、シリコーン製、天然ゴム、ブチルゴム製など)を着用する。
- 眼の保護具 : 保護メガネ(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を使用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 揮発性液体
- 色 : 無色透明
- 臭い : 特異臭 (果物の匂いまたはミントのような匂い)
- 臭いの閾値 : 刺激的
- pH : 適用しない
- 融点 : -94.7℃ (アセトン)
- 沸騰点 : 56.2℃ (アセトン)
- 引火点 : -18℃ (アセトン)
- 自動発火 : >+465℃ (アセトン)
- 蒸発速度 : データなし
- 引火性(固体、気体) : 引火性ガス
- 引火または爆発範囲の上下限 : 下限: 2.5% 上限: 13%
- 蒸気圧 : 内で蒸気圧は500Kpaを超える。スプレーをした後: アセトン233hpa20℃

溶解度	: 水に極めて溶けやすい
蒸気密度	: データなし
比重	: 約1.3 (PMDI) g/cm ³
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: 350℃以上
分解温度	: データなし
粘度	: 0.304 mPa*s (20℃)
その他情報	: スプレーされたガスは下に沈む。相対蒸気液体密度 (空気=1) : 2.0

10. 安全性及び反応性

化学的安定性及び有害反応の可能性	: 正常保管時安全である。
避けるべき条件	: +40℃を超える保管温度は避けること。熱と火花そして他の点火から遠ざけて下さい。熱と湿度を避けること。
避けるべき物質	: アセトンは酸化剤と塩素処理されているもの/アルカリ混合物そしてヘキサクロロメラミンと激しく反応し、2塩化物、カリウムtert-ブトキシドとそれと似ている性質のものには激しく反応する。
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

酷い毒性:	短時間の口腔毒性。LD 50 = 5800mg/kg (rat)
皮膚接触:	LD 50 = 20000mg/kg (rabbit)
吸入:	LC 50 > 76 mg/l (rat - 4時間吸入)

刺激活動: 皮膚、目そして気道の上層部に疾患を起こす恐れがあり、目に入った場合、角膜損傷を起こす恐れあり。

アレルギー: 持続的に皮膚と接触すると皮膚乾燥症と皮膚の皮がむける恐れあり。

追加的な毒性情報: なし。

12. 環境影響情報

移動性: 強い揮発性を持つ蒸気液体。アセトンは地面でも移動がとても活発である。

アセトンは高陵土或いは流れる堆積物には吸着しない。

分解: タイプ: aerobic Inoculums: domestic savage, not adapted
20日後 84%。 BOD5:1,85g/g。

化学的分解: COD: 2.07g/g

生物蓄積: この材料には目立つような生物蓄積が見られない。

敏捷性: 知られているものなし。

毒物影響有機体:

魚の場合: *Limnea macrochirus* CL50:8300mg/l/96h.

オオミジンコの場合: UE50:12600-12700mg/l/48h.

最高に許容される毒性濃度:

藻類への毒性: *Scenedesmus quadricauda* KI5: 7500 mg/l /8 d。

バクテリアへの毒性: *Macrocyctis aeruginosa* UE5: 530 mg/l /8 d。

シュードモナス - プチダ: 1700mg/l/16h。

水での毒性:

毒性がある: aerobic Inoculums: domestic savage, not adapted

20日後 84%。 BOD5:1,85g/g。

その他毒性: COD:2.07g/g

13. 廃棄上の注意

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び地方条例に定められた方法に従って、焼却などの処理を行うこと。委託された場合は、許可を受けて廃棄物処理業者に委託すること。廃容器に内容物を十分除去した後に、法規に従い廃棄する。容器を火に投入しないこと。

14. 輸送上の注意

- 陸上運送 : 消防法の規定に従う
海上運送 : 船舶安全法の規定に従う
国連番号 : 1950
品名 : エアゾール
クラス : 2.1
航空運送 : 航空法の規定に従う
国連番号 : 1950
品名 : エアゾール
クラス : 2.1
その他の安全対策 : 移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物
(政令番号第17号「アセトン」、対象重量%は ≥ 1)
名称等を通知すべき危険物及び有害物
(政令番号第17号「アセトン」、対象重量%は ≥ 0.1) (別表第9)
第2種有機溶剤等
(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項 第4号)
危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号)
作業環境測定基準、作業環境評価基準
名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (ブタン)
危険物・可燃性のガス (施行令別表第1第5号)
化審法 : 優先評価化学物質 No. 114 (官報公示日: 2012/12/21) 「アセトン」
優先評価化学物質の評価対象: 人健康影響
消防法 : 第四類第一石油類 危険等級Ⅱ
船舶安全法 : 高压ガス (危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法 : 高压ガス (施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

この資料の問い合わせ

株式会社ティ・エム・シー (Tel) 03-6659-3871 (Fax) 03-6659-3872

本文中に記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるもので作成しておりますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をするものではありません。

また、注意事項は、通常を取扱を対象としたものであります。特殊な取扱の場合には、この点のご配慮をお願い致します。

最初作成日：2013-06-24

改正回数及び最終改正日

改正回数：2回

最終改訂日：2020-11-11

最初作成日：2020-11-11